

いのちを守る都市づくり

コミュニティ防災フォーラム 2025

コミュニティ防災とはコミュニティを主体としたボトムアップアプローチの防災です。災害などに最前線で立ち向かうのはコミュニティであり、そのメンバーのモチベーションやソーシャル・キャピタルの充実によって被害と復旧に差が出ます。コミュニティには地域コミュニティ以外にも多様なテーマ型コミュニティや企業コミュニティも含まれます。

大阪公立大学 都市科学・防災研究センター (UReC) は、コミュニティの脅威となるリスク評価、リスク・マネジメント、危機管理、防災計画などを体系化し、他の公立大学、行政機関、企業、地域住民と協働した研究や教育実践によるアプローチで、最新の災害研究、情報技術、都市科学を踏まえた新しいコミュニティ防災システムの確立を目指しています。

日時

2025年 2月22日(土)
14:00~17:00 (開場 13:30)

場所

南海なんば第1ビル2階
大阪公立大学 I-site なんば (C2-3室)

定員

100名 (先着順) ※要申し込み
申し込み期限 2月18日(火)

お申し込みフォーム

<https://forms.gle/fw6Ro1yKcUwjtuTU6>



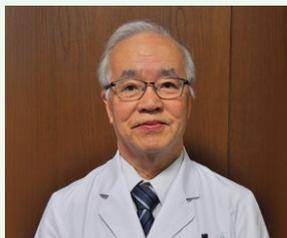
お申し込みはこちら



アクセス

南海なんば駅より徒歩12分
大阪メトロなんば駅より徒歩15分、
大国町駅より徒歩7分

<https://www.omu.ac.jp/isite/access/>



鵜飼 卓氏

1963年大阪大学医学部卒業、大阪府立千里救命救急センター副所長、大阪府立総合医療センター救命救急センター所長、兵庫県立西宮病院院長、兵庫県災害医療センター顧問などを歴任。国内外で医療支援活動を展開。現在、認定NPO法人 災害人道医療支援会 (HuMA) 顧問、谷向病院健診センター長。

● 基調講演

「阪神・淡路大震災から30年
～いのちを守る災害医療」 鵜飼 卓氏

● 令和6年能登半島地震における学生ボランティア活動報告

吉田 萌恵 (現代システム科学域 環境社会システム学類 2年)
上岡 ひなの (法学部 法学科 3年)
橋本 直樹 (情報学研究科 学際情報専攻 1年)

● パネルディスカッション

「いのちを守る防災 ～阪神・淡路大震災から能登半島地震まで」

パネリスト: 避難所・避難生活学会代表理事、石巻赤十字病院 副院長 植田 信策氏
パネリスト: NHK大阪放送局 チーフ・プロデューサー 東條 充敏氏
パネリスト: 大阪公立大学 UReC客員教授 宮野 道雄氏
モデレーター: 大阪公立大学 UReC教授 生田 英輔氏
コメンテーター: 鵜飼 卓氏

同日・同会場
開催

第10回避難所・避難生活学会学術集会

フォーラム参加者特典: 学術集会参加費一部免除

コミュニティ防災フォーラム参加者は22日(土)午前及び23日(日)の学術集会に参加できます。
参加希望者はフォーラムに申し込まれる際に選択してください。

「避難所・避難生活学会」HP (<https://dsrl.jp>) へは、右の2次元バーコードからアクセスいただけます。▶

